

## 技術講習会「メガソーラーの導入・運用事例と関連サービスの動向」参加報告

報告者：(株)トーエネック 小林 浩

■ 日 時：平成 26 年 6 月 13 日（金）13:30～16:45

■ 会 場：名城大学 名駅サテライト

■ 内 容

1. メガソーラーの導入実績と運用事例の紹介（NTT ファシリティーズ 竹内典和 氏）
  - ・ メガソーラー事業で約 1,180 ヶ所、235MW の実績がある。
  - ・ メガソーラーの保守については、月次点検、6 か月点検、年次点検を実施している。
  - ・ 保守体制では 200 ヶ所の営業拠点から駆けつけるのが強みである。
  - ・ 発電診断では、従来の接点信号の受信や発電量の差を評価するだけでなく、プラスαの機能を付加し、出力低下の早期検出に努めている。
2. メガソーラーのメンテナンスサービス（中部電気保安協会 橋本圭一 氏）
  - ・ PV システムのメンテナンスを約 800 件引き受けている。
  - ・ 平成 25 年 7 月に 2MW までの設備の保安を外部委託できることになったため、急激に受注が増加した。
  - ・ 平成 27 年 4 月より太陽光設備の受電設備に関する点検頻度が変更となる。6 か月に 1 回であった点検が、条件によって 3~4 ヶ月となる。遠隔監視の有無で、4 回/年から 3 回/年に緩和される。
  - ・ 機器異常や故障の対応件数は PCS 停止が 7 割で、停止の理由として①配電線故障 49%、②温度異常 6%、③リレー動作 5%、その他は不明や異常なしである。
  - ・ 新たな取り組みとして、絶縁診断、ラジコンヘリ点検、自動清掃ロボット、除草・防草(ヤギ、防草シート)について検討している。
  - ・ 保安協会では 24 時間監視サービスを提供している。20 年間のデータ保存や他の発電所と発電量比較、報告書自動作成などの機能がある。



講習会の様子

3. メガソーラーのリスクと対応する保険プログラム（トーエネックサービス 中川敦史 氏，  
あいおいニッセイ同和損害保険 松岡正和 氏）
- ・ 太陽光発電設備のリスクは，自然災害リスクと電氣的・機械的リスクに分けられる。
  - ・ 想定リスクには，火災，雷，風，雪・ひょう，水，盗難(その他)，がある。
  - ・ 補償の対象は，発電機会損失であって，日照不足ではない。
  - ・ 地震，噴火，津波は適用外であり，鳥獣害も適用外である。地震保険はあるが保険金が高額である。
  - ・ 発電所の管理状況によってリスクの捉え方がちがう。警備付きの施設であれば，保険料は安い。遠隔監視システム有無やパネルの出力保証有無によっても変わる。
4. メガソーラー評価・認証サービス（テュフラインランドジャパン 光成彰志 氏）
- ・ 本サービスは Stage1(計画・施工)，Stage2(施工から運用開始まで)，Stage3(運用)の 1 と 2 をパッケージングしたサービスである。
  - ・ Stage1 では仕様書の検査や，試験所でのサンプルモジュール性能測定を行う。
  - ・ Stage2 では IV 測定(特定ストリング)，サーモグラフィ(特定モジュール)，亜鉛被覆厚測定，目視点検，電圧・電流・絶縁抵抗測定を行う。
  - ・ その他，発電事業者向けの資産価値評価(テクニカル・デューデリジェンス)や事業者向けの認証も可能な第三者認証機関である。
  - ・ 太陽電池の出力を高精度に測定することができる機関を所持している。第三者試験機関としての中立的なデータを提供することが可能

以 上